

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
翻訳法入門 Basic Translation Skills		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
リーディング I、II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
佐藤秀一	本館2階	火曜日、木曜日の11時から16時まで (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
実際に翻訳するにあたって必要な英語と日本語の基本的相違を認識する。翻訳することによって意味や感情が異なってくるが、自然で正しい日本語を考える機会にする。英語、日本語に限らず言葉の大切さを学ぶ。				
授業の目標				
①原文の意味を正確に理解し、正しく伝達できるようにする。 ②日本語らしい表現で訳すことができるようにする。(受験英語の和訳からの脱却) ③翻訳にあたって必要な英語と日本語の相違の認識ができるようにする。 ④翻訳に対する態度と技術(翻訳のコツ)を習得できるようにする。				
授業の方法				
テキスト以外に文学作品や映画のシナリオからの抜粋、新聞、雑誌記事、広告、その他各種の英文プリントを翻訳し、ペアで各自の翻訳を評価し、添削しあう。各自に同じ英文の翻訳を板書して比較研究する。				
学習の成果(学習成果)				
この授業を履修すると、あなたは ①翻訳する際の基礎的な考え方、ルールなどポイントとなる点を認識できる。 ②文法事項を再認識できる。 ③翻訳の基礎的に知識と技術を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明 (担当：佐藤秀一)			
第2回目	Section 1 語順—原文の流れを乱すな Section 2 名詞の中に文を読め			
第3回目	Section 3 主語を表わす所有格 Section 4 目的語を表わす所有格			
第4回目	Section 5 of＋名詞—主語を表わす場合 Section 6 of＋名詞—目的語を表わす場合			
第5回目	Section 7 無生物主語の構文 Section 8 "A good Swimmer"の型			
第6回目	Section 9 人称代名詞、指示代名詞 Section 10 はんぷくをさけるためのThat, One			

第7回目	Section 11 A 関係代名詞（１）―接続詞を補う B 関係代名詞―分解する	
第8回目	Section 12 形容詞・副詞を述語に―Many, Some Section 13 文修飾の副詞 Section 14 形容詞を副詞に―All, Every, Each	
第9回目	Setion 15 A 比較級・最上級 B 否定の絡んだ比較表現 C as…asの構文	
第10回目	Section 16 A 受動態（１）自動詞を使って能動態に（２）By ～を主語にして能動態に（３）暗示されたby～を主語にして	
第11回目	Section 17 受動態（４）受動態のまま	
第12回目	Section 18 仮定法（１）主語に仮定が含まれている場合 仮定法（２）副詞句に仮定が含まれている場合	
第13回目	仮定法（３）発想を転換する Section 19 話法（１）直接話法を生かす 話法（２）直接話法を掘り起こす	
第14回目	Section 20 強調構文 Section 21 省略（共通）構文	
第15回目	Section 22 接続詞（1）Except, Without Section 23 接続詞（２）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に集中し、必要なことはノートに取る。積極的な発言をする。
レポート	20%	課題の条件を十部満たしている。学習の成果が満たされている。
調査報告書		
小テスト	10%	課題の条件を十部満たしている。学習の成果が満たされている。
試験	40%	学習内容を理解し、その知識と技術をある程度身につけている。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
「翻訳英文法 トレーニング・マニュアル」（バベル・プレス）		
履修上の留意点・ルール		
予習・復習をする。辞書・電子辞書を持参し、積極的に授業に参加すること。飲食物持ち込み厳禁		